

1. 科目コード

1251

2. 科目名

T11: 探究実践演習

3. 担当教員

炭谷 俊樹 (Toshiki Sumitani)

4. 開講期

春1期

5. 履修要件(前提科目)・重要情報

なし

6. 科目の目的・概要

社会の課題を発見し、自らの強みや経験を活かしながら解決策を立案、実行して価値を生み出す「探究実践」の考え方を知り、実践する。特定課題研究実行の基礎ともなる。同じテーマに興味のある学生同士のグループを構成し、探究する社会課題に対するICTを用いた解決策の仮説作成と検証を行う。

7. 授業概要

- 1 「探究実践」とは何か、概要、全体像、意義を理解する
- 2 自分の過去の経験を振り返ることを通じて探究テーマを探す
- 3 人に話を聞き、世の中の動きに注目することを通じて探究テーマを探す
- 4 リストアップした探究テーマの候補の中から、最も取り組みたいテーマを選ぶ
- 5 興味のあるテーマを学生全員が発表し、興味の近い学生とグループを構成する
- 6 グループとしての探究テーマを決め、解決策の最初の仮説を作成する
- 7 仮説検証の第一の視点、受け手の視点について理解する
- 8 受け手の視点での検証を行うためのインタビューの準備を行う
- 9 仮説検証の第二の視点、独自性の視点について事例調査を行う
- 10 グループの仮説の独自性を検討、検証する
- 11 仮説検証の第三の視点、収支の視点を理解し、お金の流れを検討し、仮定を置く。
- 12 経年での収支シミュレーションを行うことを通じて仮説を検証する。
- 13 仮説検証結果をまとめ、提案資料を作成する
- 14 グループ全員で提案資料を発表し、質疑応答を行う
- 15 探究実践演習を通じて実践したことを振り返り、気づいたことをレポートにまとめる
- 16

8. 教科書

「ゼロからはじめる社会起業」 炭谷俊樹 (Kindle版)

9. 参考書

「実践 課題解決の新技术」 炭谷俊樹 (PHP研究所)

10. 科目の学習目標

- (1) 社会に存在する未解決の課題を発見する
- (2) 自分や人の強みや特徴を知る
- (3) 両者を組み合わせた探究テーマを発見する
- (4) 探究テーマについて、新しい価値提供の仮説を構築する
- (5) 探究テーマについて3つの視点での仮説検証を行う
- (6) 以上をまとめ、プレゼンテーションを行う
- (7)
- (8)

11. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

| 教育目標 | | 学習目標 | |
|----------------------|------------------------------|--------------|--------------|
| 高度ICT スキルの修得 | 基礎的素養 | | |
| | 専門知識および業務応用力 | | |
| 人間力 (=探究力) の修得 | 自ら強みを磨き続ける力 | (2) | |
| | 自ら社会における 課題を発見し、 解決する力 | 課題設定 | (1)(3) |
| | | 仮説立案 | (4) |
| | | 仮説検証 | (5) |
| | | 実行 | (6) |
| | 社会人基礎力 | 前に踏出す力 | (1)(2)(3)(4) |
| 考え抜く力 | | (5)(6) | |
| チームで働く力 | | (3)(4)(5)(6) | |
| 職業倫理の修得 | | | |

12. 評価方法と配点

| 学習目標 | 達成度評価方法と配点 | | | | | |
|------|------------|------|------|----|-----|-----|
| | 期末試験 | 小テスト | レポート | 発表 | 成果物 | その他 |
| (1) | | | ○ | | ○ | |
| (2) | | | ○ | | | |
| (3) | | | ○ | | ○ | |
| (4) | | | ○ | | ○ | |
| (5) | | | ○ | | ○ | |
| (6) | | | | ○ | | |
| (7) | | | | | | |
| (8) | | | | | | |
| 配点 | | | 30 | 30 | 40 | |

13. 評価基準

| | |
|------|---|
| 期末試験 | |
| 小テスト | |
| レポート | 演習終了後の「振り返りレポート」において、各設問について、自分(達)が実践したことについて具体的に記述し、また実践を通じて何を学び気づいたかについて自らの言葉で具体的に述べる |
| 発表 | (1)(3)(4)(5)の学習目標について実践した内容について、どれくらい深掘りできているかと具体的にわかりやすく伝えられているかを評価する |
| 成果物 | 授業後に出されてMoodleに提出する課題について、課題の内容を理解して実施し、それが記述されているかを評価する。 |
| その他 | |

14. アクティブラーニング(A:行っている B:やや行っている C:行っていない)

| | |
|--|-----|
| 授業時間全体に占めるアクティブラーニングの時間的な割合 | 75% |
| 1 授業で得られた知識や技能を活用し、出題された問題を解いたり、課題に取り組むなど能動的学習を行う | A |
| 2 グループワークで課題に取り組み、学生同士が自由に発言することで何らかの課題に取り組むなど能動的学習を行う | A |
| 3 能動的学習の成果を発表し、そのフィードバックを得て自ら主体的に振り返り、学習効果を高める | A |
| 4 学生自身が主体となって、授業における学習の方向性を定める | B |

15. 備考

授業はオンラインで実施する。課外時間に、インタビュー等の調査を実践する必要がある。授業に必要な資料の提示や演習の出題、提出等はMoodleで行う。グループワーク及び課題の多くはPCを用いて実施する。

16. 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1回 探究とは (講義90分)

「探究」の考え方、全体の枠組み、大学院生活および修了後の社会での経験との関係について述べ、探究の意義を理解する

- ・「探究」とは何か、その意義(30分)
- ・本科目の目的及び進め方(20分)
- ・探究事例紹介(40分)

第2回 テーマ設定(1)身近な体験からの着想 (講義&グループ実習 90分)

自分の過去の体験から探究テーマの候補を挙げる

- ・テーマ設定の概要説明(20分)
- ・個人のライフサイクルチャートの作成(20分)
- ・3名程度の小グループで各自の経験や興味についての相互インタビューの実施(30分)
- ・個人で興味のある探究テーマ候補のリストアップ(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

第3回 テーマ設定(2)テーマを広げる (講義&個人実習 90分)

自分以外の視点からもテーマの候補を挙げ、視野を広げる

- ・概要説明(10分)
- ・世の中の動きや課題・人の不満からの発想(30分)
- ・ICTを活用した課題解決の事例の調査(40分)
- ・個人テーマ候補の追加(10分)

第4回 テーマ設定(3)テーマを絞る (講義&個人実習 90分)

第2、3回でリストアップしたの中から各自が最も興味のあるテーマ2~3個に絞り込む

- ・概要説明(10分)
- ・絞り込みのための評価表の作成(60分)
- ・2~3のテーマに絞り込み(15分)
- ・次回に向けての準備説明(5分)

第5回 テーマ設定(4)テーマの共有とグループ決め (グループ実習 90分)

個人が興味を持つテーマを全体で共有し、興味の近い学生同士でグループを構成する

- ・概要説明(10分)
- ・個人のテーマの発表・共有(60分)
- ・グループ決め(20分)

| | |
|--|--------------------|
| 第6回 テーマ設定(5) 価値創造の仮説作成 | (講義&グループ実習 90分) |
| グループ内で問題意識を共有し、新しい提供価値の仮説を作成する | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要説明(10分) ・ グループ内での問題意識の共有(20分) ・ 新しい提供価値に関するアイデア出し(30分) ・ 新しい提供価値の仮説のまとめ(25分) ・ 次回に向けての準備説明(5分) | |
| 第7回 仮説検証(1)－1 受け手の視点 | (講義&グループ実習 90分) |
| サービスの受け手視点での検証の重要性を理解する | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで検討した仮説の発表・質疑(40分) ・ 3つの検証ポイント・サービスの受け手視点の説明(20分) ・ サービスの受け手など関わる人の洗い出し(グループワーク)(30分) | |
| 第8回 仮説検証(1)－2 インタビュー | (講義&グループ実習 90分) |
| グループの探究テーマ検証のためのインタビューを設計する | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要説明(15分) ・ インタビュー設計(70分) ・ 次回に向けてのインタビュー実施説明(5分) | |
| 第9回 仮説検証(2)－1 独自性の視点 | (講義&グループ実習 90分) |
| 自らのサービスの独自性を打ち出すことの重要性を理解し、先行事例を調査してビジネスシステムでまとめる | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ インタビュー検証結果のまとめ(30分) ・ 独自性の重要性と検討方法(15分) ・ 事例情報収集・まとめ(45分) | |
| 第10回 仮説検証(2)－2 独自性の検討と検証 | (講義&グループ実習 90分) |
| グループの解決策の独自性をビジネスシステムを通じて検討する | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要説明(30分) ・ グループの解決策の独自性の検討(60分) | |
| 第11回 仮説検証(3)－1 収支の視点 | (講義&グループ実習 90分) |
| 収支をとることの考え方を理解する | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 収支の考え方説明(20分) ・ お金の流れの検討、収入、支出の仮定設定(70分) | |
| 第12回 仮説検証(3)－2 収支シミュレーション | (グループ実習 90分) |
| グループの探究テーマの簡単な収支シミュレーションを行う | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要説明(20分) ・ シミュレーション実習(60分) ・ 追加検証のための調査実施説明(10分) | |

第13回 提案(1) プレゼン資料のまとめ

(講義&グループ実習
90分)

以上の検討結果をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する

- ・ 検証結果のまとめ(20分)
- ・ プレゼン資料作成説明(10分)
- ・ プレゼン資料作成(60分)

第14回 提案(2) プレゼンテーション

(全体でのグループ実習
90分)

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行う

- ・ 前半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)

第15回 提案(3) プレゼンテーションと振り返り

(全体でのグループ実習
90分)

明快でインパクトのあるプレゼンテーションを行い、全体を振り返る

- ・ 後半グループのプレゼンテーション (1グループにつき、発表10分、質疑10分程度)
- ・ 振り返りセッション:これまでに学んだことを各自振り返り、レポートにまとめる